

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本理念

ITの新しい価値を創造し、お客様の成功と社会の発展に貢献する

② 中長期の経営戦略

1. Oracle Cloud基盤のモダナ…

Oracle Cloud Infrastructure(OCI)を活用し、ミッションクリティカル・システムのモダナイゼーションと生成AIの活用を展開。

3. ソブリンクラウド展開

Oracle Alloyを活用し、日本初のソブリンクラウドを展開。地政学リスク対応とデータ主権・運用主権の要件に対応

2. ガバメントクラウド推進

ガバメントクラウド認定のOCIを活用し、地方自治体のデジタル化と生成AI活用による業務効率化支援で政府方針に貢献

4. ハイブリッド・マルチクラウド対応

ITコスト構造改革や生成AI活用の最適解を提案。オンプレミスとクラウドのハイブリッド環境や他ハイパースケーラーとのマルチクラウド環境提供

③ 対処すべき課題

① レガシーシステムのモダナイゼーション

- ・ 日本市場におけるレガシー・システムの近代化が不可欠
- ・ 将来の技術進化を見据えた対応が必要

② 生成AI活用支援

- ・ 顧客データをセキュアに活用した生成AIサービス提供
- ・ AIエージェントサービスとデータプラットフォームの強化

③ パートナー連携強化

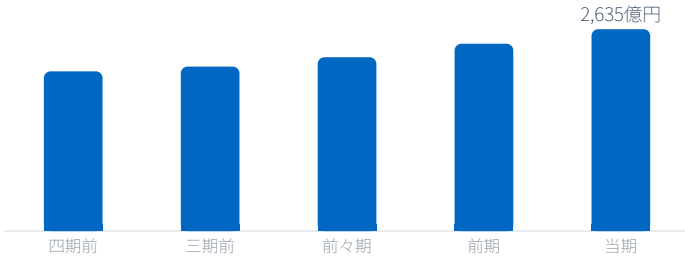
- ・ 各業界に最適なオラクルソリューション提供のため連携加速
- ・ 組織横断コラボレーションによるお客様貢献

面接で使えるポイント

- ・ Oracle Cloud Infrastructure(OCI)を活用したミッションクリティカル領域での高度なセキュリティ…
- ・ 2024年5月期に始動した『日本のためのクラウド提供』と『お客様のためのAI推進』の2つの方針で日本企業を支援
- ・ ガバメントクラウド認定やソブリンクラウド展開で地政学リスク対応とデータ主権要件への対応を推進

証券コード 4716

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
米国オラクル・コーポレーションを実質的な親会社とする企業グループの一員として

主力事業・セグメント
・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）
・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
70点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 67.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,259万円

情報・通信業内 13位/592社

平均年齢
44.1歳

情報・通信業内 62位/593社

平均勤続
10.8年

情報・通信業内 114位/593社

女性管理職
15.5%

情報・通信業内 163位/373社

男性育休
86.8%

情報・通信業内 144位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 日本オラクルの「Best License Partner o

